

# 清流

川メール

発行日／令和2年1月1日  
 発行／静岡県河川協会  
 (事務局：交通基盤部河川砂防局内)  
 E-mail:kasenk\_s@yahoo.co.jp  
 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号  
 TEL：054-221-3032 FAX：054-221-3260



富士川から望む富士山(富士市)



桂川(伊豆市)

## C O N T E N T S

### 新春挨拶&河川協会の取組

静岡県河川協会長新春挨拶	1
静岡県河川協会河川等功労者表彰式	1
令和元年度中部地方治水大会	2
災害復旧促進全国大会・治水事業促進全国大会	2
静岡県河川協会県外視察研修会	2

### 県内のトピックス

台風19号に伴う被災状況と静岡県の防災・減災対策	
降雨の概要	3
浸水被害状況について	3
静岡県交通基盤部所管の公共土木施設被害状況について	4
静岡県の今後の防災・減災対策	4
太田川ダム管理10周年記念イベントを開催しました	5
静岡県における多自然川づくりの取組について	5
袋井市:洪水ハザードマップ作成の取組	6

### インフォメーション

『第19回しずおか川自慢大賞』が開催されます	7
河川・海岸、道路愛護団体等表彰式を開催しました	7
事務局お知らせ、日本河川協会個人会員募集	7



# 静岡県河川協会長新春挨拶

令和2年の新たな年を迎え、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

会員の皆様をはじめ関係機関の皆様方には、日頃から河川・海岸事業の推進及び当協会の運営に深い御理解と温かい御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

近年、気候変動等に伴う風水害が全国各地で発生しておりますが、昨年も、8月豪雨や9月の台風15号、10月の台風19号などにより、大きな被害が発生しました。

特に、10月12日に伊豆半島に上陸した台風19号につきましては、県内におきましても、尊い命が失われ、家屋の損壊や浸水が発生し、河川、道路、港湾等の公共土木施設に甚大な被害をもたらしました。

平成30年7月豪雨で、改めてハード対策の重要性が認識され、国の補正予算から「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」により治水事業を集中的に推進していますが、国民の安全と安心を確保する治水事業は3か年で終わるようなものではありません。

当協会におきましても、会員間、関係機関との連携を深め、地域住民の安全・安心のまちづくりのため、更なる事業展開をまいりますので、皆様には一層の御支援、御協力をお願いいたします。



静岡県河川協会  
会長 頼重秀一 (沼津市長)

## 静岡県河川協会河川等功労者表彰式

令和元年5月30日、もくせい会館(静岡市葵区)において「第52回静岡県河川協会総会」を開催し、「令和元年度(第36回)河川等功労者表彰式」を行いました。県内の治水、利水をはじめ、河川等の環境美化、水防活動等に多大な功績が認められた5団体2個人に対して、会長である頼重秀一沼津市長から賞状と記念品を授与し、頼重会長や市町の首長様、来賓の皆様との記念写真を撮影し、受彰者の労をねぎらいました。



静岡県河川協会河川等功労者表彰

市町名	氏名または団体名(敬称略)	主な功績
函南町	静岡銀行函南支店 様	平成30年、狩野川水系来光川の堤防のゴミ拾いに取り組み、河川愛護精神の普及や河川の美化保全に実績をあげています。平成17年頃から10年以上行われている清掃活動は、狩野川水系の河川美化保全に大きく貢献しています。
富士宮市	小泉4区河川愛護会 様	昭和30年から64年間にわたり、毎年、同区内にある尾無沢の清掃活動を実施しています。川のゴミ拾い、藻や雑草取り、川沿いの歩道の草取りなどに懸命に取り組んだ結果、ホテルが帰ってきました。
静岡市	石垣 隆 様	平成7年から静岡市水防団に入団し、23年にわたって河川の危険箇所巡視、出動時の適切な水防工法の実施など、水害を最小限にとどめる水防活動に尽力されています。
藤枝市	兵太夫下町内会 様	準用河川黒石川、黒石川支川の草刈及び清掃活動を年2回、町内会役員が中心となり流域町内会会員538人が実施しています。
藤枝市	青葉町南町内会 様	二級河川栃山川の草刈及び清掃活動を年2回、町内会役員が中心となり流域町内会会員65人が実施しています。
浜松市	赤佐8区自治会 様	昭和40年から50年以上にわたり、荒巻川・大門川等の堤防の草刈や清掃活動を実施し、河川の美化・保全活動に積極的に取り組んでいます。
浜松市	大石 幸伸 様	平成16年に浜松市水防団に入団し、15年間にわたって水防活動の第一線で活躍されています。水防技術の向上、若い世代への伝承のための訓練の実施等、優れた統率力で水防団の運営を行いました。

## 令和元年度中部地方治水大会

令和元年10月23日に静岡市駿河区の男女共同参画センターあざれあ大ホールにおいて、「令和元年度中部地方治水大会」が開催されました。この大会は、治水事業の重要性を広く喚起するとともに、国会、政府並びに関係当局に対し、治水利水事業の強力な推進、災害発生時の速やかな対応と多様な治水対策の措置などを提言するために行われ、国会議員、静岡県議会議員、中部5県治水関係者等、約250名が参加しました。

大会は、第一部として、NHK静岡放送局放送部副部長の横尾泰輔氏から「災害から命を守る情報とは～NHKの東日本大震災初期報道の当事者分析から～」と題して、記念講演が行われました。

また、第二部では、岩井茂樹参議院議員等の祝辞に続き、国土交通省より治水事業概要説明が行われ、その後、杉本基久雄牧之原市長から「牧之原市の津波防災対策」について、小野登志子伊豆の国市長からは「あの日の悲劇を教訓に～狩野川台風の経験から学んだこと～」と題し、意見発表が行われました。

最後に、大会決議を採択し、次期開催県を三重県に決定しました。



令和元年度中部地方治水大会

## 災害復旧促進全国大会・治水事業促進全国大会

令和元年11月5日、災害復旧事業の促進と防災対策の強化推進を要望するため、「令和元年度災害復旧促進全国大会」が砂防会館別館（東京都千代田区）で開催され、県内から15名が参加しました。全国各地の災害復旧事業又は災害の防止事業に関し、長年に渡り献身精励し、顕著な功績があった個人及び団体が表彰され、県内から、八木正道氏、鈴木一彰氏、藤牧俊彦氏の3名が表彰されました。大会終了後、静岡県選出国會議員に対して要望活動を行いました。

また、同年11月6日、令和元年度の治水事業費を確保する運動の一環として、「令和元年度治水事業促進全国大会」が砂防会館別館（東京都千代田区）で開催され、本協会を含め本県から24名が参加しました。大会終了後には、県内選出国會議員に対して要望活動を行いました。



災害復旧促進全国大会・治水事業促進全国大会

## 静岡県河川協会県外視察研修会

令和元年11月14日から15日に「静岡県河川協会県外視察研修会」を広島県、岡山県で開催し、県や市町の河川事業担当者23名が参加しました。

### 西日本豪雨からの復旧・復興(呉市)

平成30年7月の豪雨災害からの復旧・復興に向けた取組として、復興に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。

住まいと暮らしの再建、災害に強い安全・安心なまちづくり、産業・経済の復興、今後の防災・減災に向けた取組などの取組について学びました。

### 水辺のオープンカフェ(広島市)

京橋川や元安川の河岸緑地において、水辺に新たな魅力を創りだすため、「水辺のオープンカフェ」を実施しています。

特に「京橋川オープンカフェ」は河川空間で民間事業者による常設店舗を設置した全国初の取組であり、河川空間の新しい利活用モデルとして、先見性や革新性、汎用性などが高く評価されています。

人が集い・交わり・賑わう地域を創り、環境改善を行うことを目指した取組は、本県の川づくりの参考となりました。



静岡県河川協会県外視察研修(倉敷市)

### 真備緊急治水対策プロジェクト(倉敷市)

平成30年7月、高梁川及び小田川で氾濫危険水位を超過し、小田川では倉敷市真備町で堤防が決壊し、大規模な浸水により甚大な被害が発生しました。

国・岡山県が連携し小田川及び県管理の河川の堤防整備などのハード対策を実施しています。また、水防災意識社会の再構築に向け、倉敷市、岡山県、国において「取組方針」を策定しました。水防災意識社会の再構築に向けた関係機関の取組を学びました。

### 旭川かわまちづくり・ミズベリング(岡山市)

岡山市は、来訪客や地域住民が歩いて楽しいまちづくりを目指し、「旭川さくらみち」の護岸整備、堤防整備を行っています。さらに、河川管理用通路の整備などにより、岡山後楽園、岡山城と旭川が織り成す空間形成を図るとともに、オープンカフェなどのイベント開催等により、観光振興の促進を図っています。その再生戦略などについて学びました。

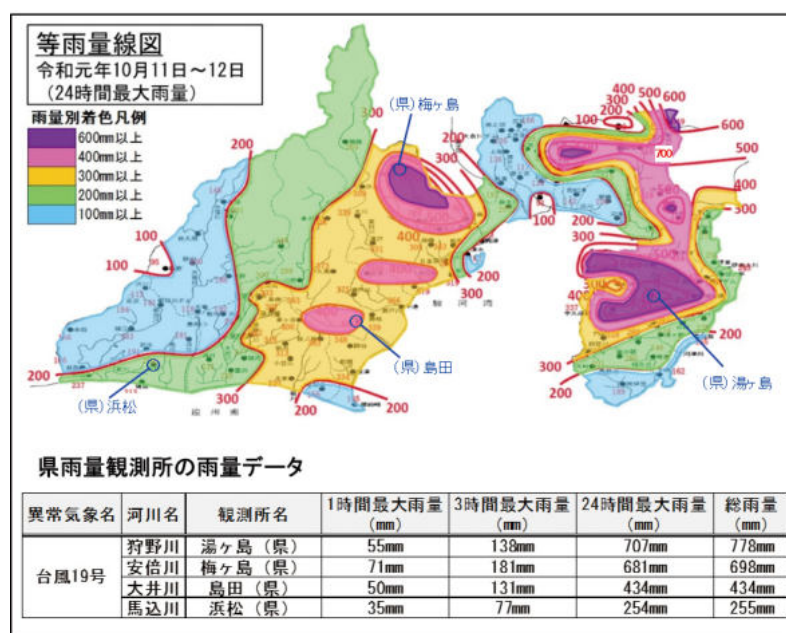
# 台風19号に伴う被災状況と静岡県の防災・減災対策

## 【降雨の概要】

令和元年10月6日に南鳥島近海で発生した台風19号が接近したことにより、静岡県では10月11日昼前から雨が降り始め、12日早朝には雨が強まり、12日午後には6市町(熱海市、伊東市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、函南町)に県下初の大雨特別警報が発表されました。

伊豆市湯ヶ島の雨量観測所では、時間最大雨量55mm、総雨量778mmが観測され、総雨量では狩野川台風を超える記録的な大雨となりました。

また、沿岸部では、台風の接近に伴って潮位が高くなり、県内の9観測所のうち、石廊崎、御前崎、清水港、内浦など7観測所で過去最高潮位記録を更新しました。



等雨量線図(24時間最大雨量)



台風19号の進路



伊豆市湯ヶ島の降水状況

## 【浸水被害状況について】

豪雨に伴う出水により、県内20河川24箇所では氾濫危険水位を超過し、県内22市町において床上浸水1,010戸、床下浸水1,424戸の浸水被害が発生しました。(戸数は令和元年12月2日時点)

出水時には、国土交通省中部地方整備局より排水ポンプ車を県内9市町延べ13台派遣していただいたことにより、家屋浸水など内水氾濫の拡大を防ぐとともに、早期に浸水を解消することができました。



堂川の浸水状況(伊豆の国市)



函南観音川の浸水状況(函南町)



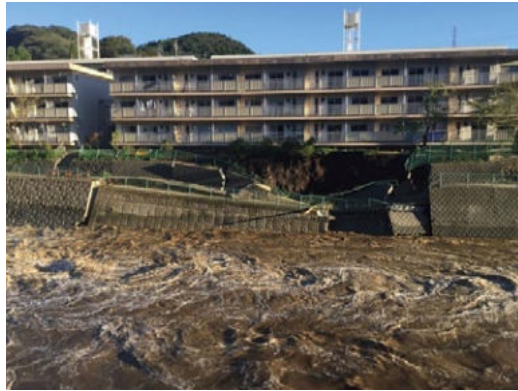
木屋川の出水状況(焼津市)



牧之原市内の浸水状況

## 【静岡県交通基盤部所管の公共土木施設被害状況について】

今回の台風19号では、小山町の鮎沢川や函南町の来光川などの河川管理施設の被害が報告されており、公共土木施設被害は、県災害、市町災害合わせて314箇所、約141億円を数えます（令和元年11月28日時点）。これらについては、11月から12月にかけて行われる国の災害査定を踏まえて、早期機能回復に努めてまいります。



被災状況(鮎沢川 護岸決壊)



被災状況(来光川 護岸決壊)

静岡県交通基盤部所管の公共土木施設被害(市町を含む)状況（令和元年11月28日時点）

工種	県災害		市町災害		合計	
	箇所数	金額(千円)	箇所数	金額(千円)	箇所数	金額(千円)
道路	38	1,971,000	99	3,107,300	137	5,078,300
河川	91	4,557,000	34	1,011,000	125	5,568,000
海岸	6	1,250,000			6	1,250,000
砂防	12	472,000			12	472,000
橋梁			1	10,000	1	10,000
公園			1	5,000	1	5,000
港湾(海岸)	8	410,000	1	50,000	9	460,000
漁港(海岸)	9	745,000	14	521,000	23	1,266,000
計	164	9,405,000	150	4,704,300	314	14,109,300

## 【静岡県の今後の防災・減災対策】

台風19号による被災状況や原因を把握・分析し、国・県・市町で構成する県下8つの「大規模氾濫減災協議会」の場において情報共有を図るとともに、必要な対策を検討し、実行に移していきます。

県としては、国が行っている「気候変動を踏まえた水災害対策のあり方」の検討を注視しつつ、まずは、台風19号で浸水被害が発生した地区などを対象に、早期に浸水被害の要因分析を先行的に進め、来年度末を目途に、市町と連携した効果的な対策をとりまとめ、国や市町と連携して防災・減災対策をさらに推進していきます。

ハード対策は、台風19号による被災箇所の早期復旧を図るとともに、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」等により、事前防災を強力に進めます。

今回の台風では、洪水浸水想定区域を設定していない河川で浸水被害が発生したため、473全ての県管理河川について、来年度末を目途に区域設定する方針として、まずは、浸水被害のあった河川を含む136河川に着手します。

### 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の取り組み

- 樹木繁茂や土砂堆積による流下阻害箇所において、樹木伐採、掘削を実施



河道掘削の例

- 越水による決壊までの時間を引き延ばす堤防天端舗装等を実施



堤防天端舗装の例

## 太田川ダム管理10周年記念イベントを開催しました

平成21年7月21日に供用開始した太田川ダムが今年で10周年を迎えたことから、令和元年11月23日(土、祝)に、太田川ダム管理10周年記念イベントを開催しました。

当日は天候にも恵まれ、県内外(北海道から兵庫県まで)から1,170人以上もの多くの方が来訪されました。また、水陸両用バスによるダム湖遊覧やサイクリングイベント、ウォーキングイベント、記念ダムカードの配布などのイベントでにぎわい、参加者の皆様楽しんでいただきました。



オープニングセレモニー



サイクリング実施状況



水陸両用バスの運航①



水陸両用バスの運航②

## 静岡県における多自然川づくりの取組

令和元年12月16日から17日にかけて、河川事業に携わる国、都道府県、市町村の職員の他、河川協力団体やコンサルタント等の関係者を対象に、「多自然川づくり」に係る最近の情勢や取組事例の紹介・意見交換等を実施する「全国多自然川づくり会議」(埼玉県さいたま市中央区新都心)が開催されました。

静岡県からは、「静岡県多自然川づくり事例発表会(令和元年8月9日(金))」、「中部ブロック多自然川づくりサロン(令和元年11月6日(水))」を経て、中部ブロック管内11事例の上位3事例に選出された袋井土木事務所が、一級河川一雲済川における「多様性のある水域創出のための「みお筋形成」」をテーマに発表しました。この事例は、河床掘削にあたり、「みお筋形成」を工夫することで、流速の強弱、水深の変化等、多様性をもった水域を創出し、水生生物の豊かな生息環境を保全するもので、施工後の生息環境の変化について、生物調査を交え分析していることが参加者から高く評価されました。



静岡県多自然川づくり事例発表会の様子



中部ブロック多自然川づくりサロンの様子



全国多自然川づくり会議の様子

静岡県では、今後も各土木事務所の取組内容を発表する事例発表会等を通じて、情報共有を図ることにより、多自然川づくりの取組を積極的に推進していきます。



静岡県多自然川づくり事例発表会(表彰式)の様子



施工から2年で「たまり」「ワンド」の形成を確認

袋井土木事務所の発表事例

多自然川づくりとは…?

河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川管理を行うこと

# 洪水ハザードマップ作成の取組

袋井市は、太田川流域、弁財天川流域、前川流域の3流域から構成されており、中小河川が多く流れています。

市内を流れる二級河川18河川のうち、太田川流域の太田川、原野谷川、敷地川、宇刈川、逆川の5河川は水防法に基づく洪水予報河川、水位周知河川に指定されており、県により、平成29年12月までに想定最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域が指定、公表されました。

これを受け当市では、5河川の洪水浸水想定区域を示した洪水ハザードマップの作成を平成30年度より着手しました。

洪水ハザードマップの作成にあたっては、住民の皆様にとって活用しやすいものとなるよう、住民の方々を対象とした説明会を防災支部単位で実施しました。説明会の中では、作成段階の洪水ハザードマップ案を用いた意見交換を行い、記載項目のわかりやすさや図面の見やすさなど様々な意見をいただいたことから、いただいた意見をきめ細やかにハザードマップに反映させることにより、より良いハザードマップの作成に努めました。

当市のハザードマップの特徴は、片面に市内全域を表示した「全域図」と、片面が市内を6地区に分けそれぞれを表示した2面構成となっており、これにガイドブックを合わせたものとして、平成31年4月に当市のホームページでの公表し、同年6月には全戸配布を行っています。

洪水ハザードマップ配布後も、市内14箇所のコミュニティーセンターにて、ガイドブックにより、命を守るための情報入手方法などを住民のみなさんに説明しました。このほか、自らと家族が取るべき行動を明確にする「マイ・タイムライン」を活用した洪水ハザードマップの理解を図るための研修会を実施しています。今後も、避難に必要な情報を住民に幅広く提供し、十分に理解されるよう努めていきます。



袋井市洪水ハザードマップ

袋井市のハザードマップは下記より確認いただけます。【袋井市洪水ハザードマップ】で検索ください。

[https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/kurashi/kurashi\\_tetsuzuki/bosai\\_anzen/bosai/map/1537502745122.html](https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/kurashi/kurashi_tetsuzuki/bosai_anzen/bosai/map/1537502745122.html)

【お問合せ先】

袋井市都市建設部建設課河川係

TEL:0538-44-3166

袋井市総務部危機管理課危機対策係

TEL:0538-44-3108



マイ・タイムライン研修会の様子

### マイ・タイムラインとは…

**一人ひとりのマイ・タイムライン(イメージ)**

3日前	国	市	住民等
			テレビの天気予報を注意。
			ハザードマップで避難所を確認!
			非常時出足の準備 足りない物を買い出し!
			川の水位をインターネットで確認。
洪水予報			お日いれ、れとー、紙に 早めの避難開始!
洪水注意			避難所に避難完了!
洪水発生			

**マイ・タイムラインの検討の過程で…**

- ① リスクを認識できる
  - ・自分の家が浸水してしまう
  - ・避難所まで遠い など
- ② 逃げるタイミングがわかる
  - ・いつ逃げる?
  - ・道と逃げる?
  - ・危険な場所をよけて逃げるには?
- ③ コミュニケーションの輪が広がる
  - ・検討会での意見交換などで、知り合いになれる
  - ・ご近所とのつながりが強く大きくなる

マイ・タイムラインができると…

- ① 災害時の防災行動チェックリストで対応の遅れを防止
- ② 災害時の判断をサポート

逃げ遅れゼロ

マイ・タイムライン(イメージ)

## 『第19回しずおか川自慢大賞』が開催されます

『第19回しずおか川自慢大賞』が、令和2年2月22日(土)に静岡市民文化会館大会議室にて開催されます。しずおか川自慢大賞は1年に1回開かれる川仲間の活動発表と交流の場です。水辺が好きな仲間同志、見たり聞いたり情報交換もできる楽しい場となっておりますので、どうぞ遊びに来てください。河川や水辺をフィールドに活動をされている団体・個人の皆様の積極的な御参加、御来場をお待ちしております。



第18回しずおか川自慢大賞の様子

【お問合せ先】しずおか川自慢大賞実行委員会 TEL:054-248-5678

## 河川・海岸、道路愛護団体等表彰式を開催しました

県では、県民の暮らしを支える大切な財産である河川や海岸、道路の愛護思想の普及を図っており、7月の「河川愛護月間」「海岸愛護月間」、8月の「道路ふれあい月間」において、重点的な取り組みを進めています。

その一環として、長年にわたり愛護運動に尽力し、その功績が特に顕著である個人や団体に対し、知事表彰を行っています。今年度は、8月23日(金)に県庁で表彰式を行い、難波副知事から河川・海岸関係2団体と道路関係5団体の計7団体に対し、知事褒賞を授与しました。



令和元年度表彰式集合写真

受賞された皆様の御活躍により住みやすい地域づくりが一層推進されるとともに、愛護活動の輪が広がっていくことを期待しております。

受賞団体:

(河川・海岸)岡部第5自治会、細島町自治会  
(道路)社会福祉法人覆育会すぎのこ作業所、  
湊花の会、えんの会、藤岡1丁目防犯咲くさくの会、  
磐田瀝青舗材事業所(以上、敬称略)

### 静岡県河川協会事務局より

- ◇来年度の静岡県河川協会理事会及び総会は、6月に開催を予定しております。会員の皆様の御出席をよろしくお願いいたします。
- ◇当会では皆さまからの御意見をお待ちしております。紹介したい事例、イベントなどございましたら、事務局までお気軽に御連絡ください。
- ◇清流表紙に掲載する静岡県内の水辺の写真を募集しております。詳しくは下記宛にお問い合わせください。

【連絡先】 〒420-8601  
静岡市葵区追手町9番6号  
静岡県河川協会(静岡県交通基盤部河川砂防局内)  
TEL:054-221-3032 FAX:054-221-3260  
E-mail:kasenk\_s@yahoo.co.jp

### 公益社団法人 日本河川協会 個人会員募集のお知らせ

公益社団法人 日本河川協会では個人会員の募集をしております。  
詳細につきましては下記宛にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先/公益社団法人 日本河川協会  
〒102-0083  
東京都千代田区麹町2丁目6番5号  
麹町E. C. Kビル3階  
TEL:03-3238-9771  
FAX:03-3288-2426